

音楽療法

毎月第1・3木曜日、10時から音楽のお好きな方を対象に、音楽療法士の三吉先生とスタッフで歌・楽器演奏・声を出すための体操などを行っています。

参加者は季節や時代背景に関連のある話で、昔を思い出されながら日頃みることのない、いきいきとした表情をされる方がおられます。言葉が出にくい方も、メロディーにのせて声を出すこともあります。先生は参加者が楽しんでいただけるように、表情や調子を見ながらピアノの音の高さや演奏の速さを変えたり、参加者から自然にメロディーが湧いてきた時には、その歌を即興で演奏したりします。今後は演奏時に、複雑なリズムが楽しめるようにと考えられています。

スタッフも、先生と一緒に参加者の個性に合わせた工夫をしていきます。



特集テーマ 「クラブ活動の紹介①」

華道クラブ



毎月第2、4水曜日の10時より、3Fの中央ホールにて常時20名前後の入居者の方が華道クラブに参加されています。先生・ボランティア(5名前後)の支援のもと、マンツーマンに近いかたちでお花に触れ合うことができている。季節に応じた数種類の花々を用意しており、思い思いにご自分で生けられたり、また、自分で生ける事が難しい方については、ご本人の目の前で確認をしながらボランティアの方々が生けてくださっています。生けたお花は先生が最終調整を行い完成となります。

華道終了後はユニットはもとより、園全体がお花の匂いと華やかな雰囲気にも包まれます。華道はクラブに参加されない方達も目で見て楽しむことのできる活動の一つです。

入居者の皆さんがとても楽しみにしている華道クラブを、今後も先生、ボランティアの方達の協力を得ながら続けていきたいと思っています。



園の食事について



らくらく食パン

見た目は普通のパンですが、パンがゆのようにしっとりしており、ミミまで軟らかいです。

今年度は「食生活改善委員会」が設けられ、食事に関するテーマで、多職種共同で検討が行なわれています。そのテーマの一つとして、嚥下困難で現在ミキサー食を召し上がってられる入居者様が、見た目も普通食と変わらず美味しく、食欲が向上し、安全に喜んで食べていただける、「ソフト食」の導入の検討があげられます。

嚥下困難の入居者様にとって、口の中でくっつきやすい食べ物(付着性がある)や、ばらばらになりやすい食べ物(凝集性がない)は非常に食べにくいものです。これを基に、試作、試食、検討の結果、固まっているだけでなく、「形」にこだわり、認知症の入居者様にも喜んで食べていただける「ソフト食」として、「魚のソフト食」「らくらく食パン」の試行を行ないました。どちらも好評ですが、特に「らくらく食パン」については、とても好評でした。今後もバリエーションを広げていこうと思っています。今後とも協力をよろしくお願いたします。



石原管理栄養士

10年以上前より、当時の園長(柴田園長)のご紹介がきっかけで敬老園で華道を始めることとなりました。

皆さんに自由に生けて下さいとお伝えしていますが、だんだんご自身で生けることができない方も増えてきております。私達のお手伝いで皆さんが元気になって頂けるよう、できることをさせて頂いています。また、私達も皆さんの元気な顔に励まされています。

これからも皆さんに喜んで頂けるように頑張っております。



講師の時国先生と桑村さん他に、福田さん、榎田さんのお手伝いを頂いています。

